

2018年 7月15日 カンカン照
場所 舞鶴 マル拓渡船

久しぶりの釣行でテンション上がるも人生初めての入院生活明けでスタミナが心配です。いつもの様に松元会長に寄ってもらい、何年ぶりかの柴田さんと共に舞鶴へ、途中軽食を取ったり、仮眠したりで現地着、本日参加者 6名、抽選で①上西さん②柴田さん③山本さん④西山さん⑤金物⑥松元会長 ⑤と⑥が 1 人乗りでその間に、柴田さん上西さんとなり西山さん山本さん横一列で釣開始、久しぶりなのでモタモタしながら第一投、モーニング狙いでボケを付けて静かに落としこむ着底後ハリスにマーキング、すぐたぐり上げて前方にチョイ投げ、竿下でモーニングに釣れると後が続かないと聞いていたのです。

糸フケをとりゆっくりと構えるとコンと小さな当り竿先を少し下げるとグッと入る、思いきり合わすと完全にのり、グイグイしめこむ、久し振りなのでドキドキしながらタモですくってやっと一安心、右隣の柴田さんから 5:10 分過ぎですと声がかかる、2匹目を狙ってすぐ投入、しかし何の当りも無く時間がすぎ、ダンゴ釣りに切り替える、黙々と打込みますが状況変わらず、...そのうちパラパラとエサ取りが、アジ、ヒイラギ、ハタの子本命無、早朝は風も吹いて無茶苦茶気持良かったのですが、時間の経過と共に暑さが倍増慌ててパラソルを出す。

病み上がりの上に久し振りの釣りなので段取りが悪いなと思いながら何時頃か？ボケを付けてチョイ投げすぐに気持ち良い当り、上がって来たのはヘダイ、時合到来と打ち込むとすぐ当り、竿をハネ上げ巻にかかるとかなりの重量感、やったと思った瞬間フワッと軽くなりハリはずれ、暑いわしんどいわで完全に釣る気なし、そのうちとなりの筏でチヌやの声、上西さんだ！けっこう良型の見た目45~6cm位、エサ何？と聞くとアケミのムキ身との事、持ってないわと思っていると次にアツと言う声、スカリに入れる時にチヌが跳ねて海にドボンらしい、そう言えば本年1回目の樁泊でもTさんがせっかく釣ったのに記念撮影の後、海にドボン、年に2回とは...

しかしまだあるかも？検寸が済むまで放流しない様に、

この日は余りにも暑いので昼過ぎにギブアップ、結局、朝一で上がった1枚のみ

長寸優勝	金物	36.8cm	バラシ①
長寸2位	松元会長	32.2cm	筏下にもぐられ バラシ②
匹数	該当者なし		

暑い中ご苦労様でした。

追伸 松元個人釣行
7/21(土)若狭本郷 金丸渡船 青柳ノ筏 5番
・釣果 23~36cm 4匹 他 小チヌ 20cm 以下 5~6匹
(エサ取り=アジ 20~25cm 入れ掛かり)

※暑すぎて昼過ぎに片づけて早上がりしました。